

ミニ展示「ヴァイオリンのデザイン」開催中!



ミニ展示「ヴァイオリンのデザイン」

会 期：令和2年8月1日(土)～令和3年3月31日(水)
 会 場：楽器博物館 地下展示室
 料 金：常設展観覧料のみ
 協 力：ヤマハ株式会社

地下展示室では現在、ヴァイオリンの形に注目したミニ展示を行っています。当館所蔵の伝統的なヴァイオリン2点とあわせて、エレキヴァイオリン3点をヤマハ株式会社の協力のもと紹介しています。

ヴァイオリンは16世紀初頭にヨーロッパに出現して以来、今日に至るまで、その形は変わっていません。形と構造は力学的にもデザイン的にも完璧と言われ、一体誰が、どこで考えだしたのか今も謎のままです。

完成形といわれるヴァイオリンですが、その歴史の中で、いい響きを求めて様々な形のヴァイオリンが作られました。その代表例が、丸みを帯びた形の「シャノー型ヴァイオリン」です。20世紀になるとエレキヴァイオリンが発明され、共鳴用の木製の胴体が不要となり、様々な形のものも生み出されてきました。

人々を惹きつける楽器やその形とは一体どんなものか、また既にある「伝統」を凌ぐほどの楽器や音楽は今後登場するのだろうか等、想像をめぐらせてみてはいかがでしょうか？

これからの催し物

■浜松市楽器博物館開館25周年記念企画展 第2弾
 《企画展》「ピアノの謎・人物の謎・名曲の謎 知られざるベートーヴェン」開催中
 会期：8/1(土)～12/27(日)
 会場：地下展示室 常設展観覧料のみでご覧いただけます
 監修：平野昭(音楽学者)

<関連イベント>

▽《講座》「ベートーヴェンの謎」(全3回)※受付終了
 8/7(金)8/21(金)8/28(金)19:00 天空ホール
 講師：平野昭(音楽学者)

▽《レクチャーコンサート》「-ピリオド楽器で奏でる-ピアノ三重奏曲第7番<大公>」
 9/5(土)19:00 音楽工房ホール

出演：小倉貴久子(フォルテピアノ)、若松夏美(ヴァイオリン)、鈴木秀美(チェロ)
 ▽《コンサート》「イギリス式アクションの開花・プロードウッド」
 11/29(日)15:00 音楽工房ホール

出演：小倉貴久子(フォルテピアノ)
 ▽《サロンコンサート》「シューベルトの連弾作品に見るベートーヴェンへのコンプレックスとその克服の道のり」
 11/28(土)14:00/15:30 展示室内 常設展観覧料のみでご覧いただけます

出演：山名敏之・山名朋子(フォルテピアノ)
 ▽ベートーヴェンBEST CD 発売中!

これまでに発売した楽器博物館コレクションCDの中から、ベートーヴェンの曲を集めたベスト盤を発売しています。(8/1発売開始)

■浜松市楽器博物館開館25周年記念企画展 第1弾 再び開催
 《企画展》「浜松まつり～勇壮なラッパと華麗なお囃子～」
 会期：2/11(木・祝)～5/11(火)
 会場：地下展示室 常設展観覧料のみでご覧いただけます

■《ミニ企画展》「金管楽器の歴史～素材と形の多様性～」
 会期：12/12(土)～3/31(水)
 会場：展示室内 常設展観覧料のみでご覧いただけます

■《レクチャーコンサート》「パリの影絵人形芝居ワヤン・クリ〜ビマの鬼退治～」
 10/24(土)15:30 音楽工房ホール

出演：梅田英春、ギター・クンチャナ
 <関連イベント>

▽《ワークショップ》「パリ島のガムラン」
 9/27(日)10:30～12:30(大人コース※中学生以上)、
 14:00～15:30(子どもコース) 展示室内

講師：小林江美(ギター・クンチャナ代表)

■《レクチャーコンサート》「フランソワ・クーブランのポルトレ」
 10/30(金)19:00 音楽工房ホール

出演：中野振一郎(チェンバロ)

浜松市楽器博物館だより

令和2年9月1日発行 No.132 編集 浜松市楽器博物館
 〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
 TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <https://www.gakkihakujp/>

Hamamatsu
Museum of
Musical
Instruments

浜松市

楽器博物館

No.132
2020.9.1

だより

開館25周年記念企画展第2弾
 ベートーヴェン生誕250周年記念

ピアノの謎・人物の謎・名曲の謎

知られざるベートーヴェン

が始まりました。(12月27日(日)まで)



当館の開館25周年とベートーヴェン生誕250周年を記念して、8月1日(土)から企画展「～ピアノの謎・人物の謎・名曲の謎～知られざるベートーヴェン」が始まりました。

ピアノは今から300年以上前の1700年頃に誕生しました。現代の姿になる過程の中で、特にベートーヴェンが活躍した時代はピアノが大きく変化した時代と言えます。ベートーヴェンは生前から、作曲家としてだけでなくピアニストとしても人気があり、ピアノ製作者たちがベートーヴェンにピアノを贈ったり、意見交換をしたりすることがありました。当時の製作者たちの試行錯誤と、ベートーヴェンの作曲意欲や音楽に対する熱意が互いに刺激し合うなかで、ピアノは日進月歩で変化していきました。本展では、ベートーヴェンと特に関わりが強かったピアノ製作者や、当時の最新式ピアノが作曲へどのように影響したのか等について、ベートーヴェンが生きていた時代に製作されたピアノや直筆楽譜(複製)等を展示しながら紹介しています。

企画展のタイトルに「〇〇の謎」と並んでいるように、ベートーヴェンは有名な作曲家の一人であるにもかかわらず謎が多い人物としても知られています。「第九」の名で知られる交響曲第9番にまつわる謎や、ピアノ曲《エリーゼのために》の「エリーゼ」についての新説など、様々な謎

にも迫ります。

ベートーヴェンをよく知っている方はもちろん、これから知りたいという方にも楽しんでいただけます。会期を延長して12月27日(日)まで開催していますので、お子様の自由研究や、芸術の秋の愉しみとしてもご覧いただけるのではないのでしょうか。

会期中には、レクチャーコンサートやサロンコンサート等を開催予定です。

楽器博物館開館25周年記念企画展第2弾
 ベートーヴェン生誕250周年記念
 「～ピアノの謎・人物の謎・名曲の謎～知られざるベートーヴェン」
 会 期：令和2年8月1日(土)～12月27日(日)※会期延長
 会 場：楽器博物館 地下展示室
 料 金：常設展観覧料のみ
 監修：平野昭(音楽学者)



ベートーヴェンBEST好評発売中!
 HCF オンラインショップ
 またはミュージアムショップで
 お買い求めいただけます。

開館 25 周年記念企画展第 1 弾 終了

当館の開館 25 周年記念企画展の第 1 弾として「浜松まつり～勇壮なラッパと華麗なお囃子～」を開催しました。

この企画展では、浜松まつり会館、浜松ケーブルテレビ株式会社、福原鶴十郎様、奥中康人様にご協力いただき、毎年 5 月 3 日～5 日の 3 日間に浜松市内で開催されている浜松まつりの歴史を紐解きながら、まつりで演奏される楽器の種類や音色、楽器等について紹介しました。

しかし、約 2 か月間の開催を予定していた本企画展は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて当館が臨時休館となったため、皆様にご覧いただいた期間は 3 週間という短さで幕を閉じました。

ご協力くださった皆さまをはじめ、この企画展を多くのお客さまにご覧いただけなかったことに、スタッフも大変残念な思いではありましたが、この度、令和 3 年 2 月 11 日から 5 月 11 日にかけて再び開催する予定です。

子供の出生を祝う浜松まつりでは、昼間は凧揚げ合戦、夜には壮麗な御殿屋台の引き回しが行われます。浜松市内の各地ではラッパや笛、鼓、三味線等が賑やかに鳴り響きます。今回の展示でも楽器と音楽という切り口で、浜松まつりの魅力をより強く感じていただけるように内容をパワーアップしてお届けする予定です。

期間中には、関連イベントとしてワークショップや講座などの催しものも多数ご用意しておりますので、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。



企画展「浜松まつり～勇壮なラッパと華麗なお囃子～」
 会 期：令和 2 年 3 月 20 日（金・祝）～5 月 20 日（日）
 ※4 月 9 日（木）から臨時休館となったため終了
 会 場：楽器博物館 地下展示室
 協 力：福原鶴十郎、奥中康人、浜松まつり会館、浜松ケーブルテレビ株式会社（敬称略、順不同）

◆次回開催時に予定している関連イベント◆
 《ミニコンサート》「邦楽囃子方による浜松まつりのお囃子」
 日時：2021/3/20（土）13:30/15:30（各回約 30 分）
 出演：福原鶴十郎 ほか
 《ワークショップ》「小鼓をたたいてみよう」
 日時：2021/3/20（土）14:15/16:15（各回約 30 分）
 講師：福原鶴十郎
 《講座》「浜松まつりのラッパの歴史」
 日時：未定 14:00/15:30（各回約 30 分）
 講師：奥中康人（音楽学者・静岡文化芸術大学教授）

ミニ展示「バリ舞踊の衣装、ワヤン・クリの人形」開催中!



6 月 6 日（土）から、展示室の一部を会場としたミニ展示「バリ舞踊の衣装、ワヤン・クリの人形」が始まりました。

日本から南に約 4,000km、1 万 4 千以上もの島々からなるインドネシアのほぼ中央付近にあるバリ島は、別名「神々と芸能の島」とも呼ばれ、人々の日常生活には神への祈りが根付き、儀式に伴う伝統芸能が盛んに行われます。これらは神へ捧げる奉納芸能であると同時に、人々には身近な娯楽でもあるのです。

今回のミニ展示ではバリ島の数ある芸能の中から、影絵人形芝居「ワヤン・クリ」、仮面劇「トベン」、聖獣「パロン」と魔女「ランダ」の舞踊劇、神聖な舞踊衣装、そして打楽器「ガムラン」をご紹介します。



水牛の革で作られたワヤン・クリ

華やかな展示品が多いので、もちろん遠くからでも見応えはありますが、細やかな装飾も随所に施されていますので、ぜひ実物を間近でよく観察してみてください。コロナ禍で旅行をするのが難しい昨今ですが、ぜひバリ島の雰囲気を感じていただき、また、バリ島の芸能文化に興味をもつていただければ幸いです。

ミニ展示「バリ舞踊の衣装、ワヤン・クリの人形」
 会 期：令和 2 年 6 月 6 日（土）～10 月 27 日（火）
 会 場：浜松市楽器博物館 1 階展示室
 料 金：常設展観覧料のみ
 協 力：梅田英春、菊地和泉、小林江美、森下千裕（敬称略、五十音順）

当館の新型コロナウイルス感染防止活動

楽器パネルを使った 3 密対策を実施



現在、展示品の写真と薄型のポリスチレンで作成した楽器のパネルを、館内の椅子の上に間隔をあけて設置しています。これは、置かれた楽器パネルを避けて座ることで、人々の密接を防ぐためのものです。最初は × 印で注意を促していたのですが、「座らないでください」ではあまり気分がいいものではありません。そこで、楽器のパネルに「われもの注意」と記載することで、自然と座ることを避けるようにしました。また、楽器のパネルは実物大にすることで、細部まで見られるようにしました。中にはパネルではなく、本物そっくりの立体物も用意し、楽器の構造を間近で観察することができます。



紙とポリスチレンで立体的に制作した「ささら」

パソコンコーナーと図書コーナーを移動し、1 階展示室入り口付近を拡張

パソコンコーナーと図書コーナーが集積していた 1 階入り口付近のエリアは、場所が狭く密になる恐れがありました。そこで、第 4 展示室（休館中に面積を拡張）にパソコンコーナーを、天空ホール横へ図書コーナーを移設しました。これにより、展示室 1 階入り口付近の通路が広がり、各エリアへの移動がスムーズになりました。



リニューアル前



リニューアル後

7 月 1 日より、体温をリアルタイムで測定する AI 温度検知ソリューションを導入



AI を活用した「独自の顔認証デバイス」と「サーモグラフィカメラ」の組み合わせにより、わずか 0.5 秒で個人認証と温度測定を同時に実施できる機器を導入しました。37.5 度以上の発熱の疑いのある入館者をリアルタイムに見分けることが可能で、入館時の消毒もあわせて館内の安全性を高めています。この機器は、浜松市と地域創生に向けた包括連携協定を結ぶソフトバンク株式会社から期間限定でご提供いただいています。

7 月 3 日より、「おもてなしガイド」を導入



「おもてなしガイド」アプリをご自身のスマートフォンにインストールするだけで、展示楽器の音色と解説文などを音声ガイドと文字で楽しめるようになりました。博物館での同アプリの正式採用は全国初。これまでイヤホンガイドを借りないと聞けなかった音声ガイドをアプリ化することで、人と人の接触を減らしながら、安心して館内を楽しんでいただけるようになりました。「おもてなしガイド」は、ヤマハ株式会社が開発した「音のユニバーサルデザイン化支援システム」で、訪日外国人や視覚障がい者にも使いやすいサービスです。

この他にも、定期的な館内の清掃・消毒等も行い、安心してご利用いただけるよう努めております。皆様のご来館をお待ちしております。